

5年生 単元 生命のつながりを考えよう 魚のたんじょう

1 本時の目標

- ・メダカの産んだ卵の中の様子に着目して、卵は日がたつにつれて中の様子に変化することとを捉えられる。
- ・メダカの卵を題材に、観察に関する技能を身に付ける。

2 教室の準備物

遠隔授業・研修システム、メダカの観察カード、メダカの観察記入用紙、ルーペ、メダカの卵

3 事前準備など

アンケートを授業後に実施し、返送をお願いします。(サポート員がいる場合はサポート員に相談ください) 集計をサイエンスラボで行った後に、報告させていただきます。

4 本時の学習活動

時間	学習の流れ 生徒の活動
展開 1	○メダカの卵の観察結果の発表。 ・一人がメダカの受精卵 1 日目から、一人 1 日分を発表する。 ※一人 2 分程度 (合計 10 分) Q 今までの発表で、何か質問はありますか。 ○メダカの卵の観察 A 2 日目 B 3 日目 C 7 日目 D ふ化 A 2 日目 (観点) つぶつぶ、卵の毛 ※つぶつぶの行方 ※卵はどこに産み付けられたか。 B 5 日目 (観点) 目、ひれ、心臓 ※黒いもの…目 心臓…動いている→拡大して血流 C 7 日目 (観点) 心臓、動く ※心臓…動いている 血液の D ふ化 (観点) 栄養をかかえている ※メダカの油滴が、お腹に蓄えた栄養と考える。 ※植物は、生まれるときに子葉に蓄えている栄養を利用して発芽する。 それぞれ、光学顕微鏡で拡大して、観察し気づかせる。 小学校にある、メダカの卵、ルーペを利用して、卵をもう一度観察する。 お腹の栄養、心臓の動きを中心に観察する。
終末	Q & A 質問コーナー アンケート記入